

平成25年3月定例記者発表

生殖補助医療技術キャリア養成 特別コースの開設

農学部 ・ 医学部保健学科

農学部(環境生命科学研究科) 舟橋弘晃

不妊治療現状考える

岡山でシンポ 学生ら80人聴講

国内の7組に1組の夫婦が不妊とされ、少子化も進む現在、体外受精といった生殖補助医療(不妊治療)の現状や課題について考え



る公開シンポ「不妊治療の現状と課題」が28日、岡山県立大学(岡山市北区津島)の講義室で開かれた。講師は岡山県立大学の講師や、5人が講演、学生ら約80人が聴講した。

不妊治療の体外受精、卵子凍結保存...

不妊治療

生殖補助医療技術キャリア養成特別コース「準備の一環として開催した。」

(大江恵里奈)

生殖補助技術者を育成

岡山大学 特別コース新設

岡山大学

岡山大学農学部は、体外受精や人工授精、卵子凍結保存などの生殖補助医療技術者を養成するために、特別コースを新設した。このコースでは、基礎的な生物学や解剖学のほか、体外受精の技術や卵子凍結保存の方法などを学ぶ。また、臨床実習も行う。このコースは、2013年度からスタートする。岡山大学農学部は、このコースを通じて、生殖補助医療技術者の育成に貢献するとしている。

中四国の不妊治療レベルアップを

卵子凍結技術学

岡山大(岡山市北区津島)で先月29日、体外受精などの生殖補助医療(不妊治療)で卵や精子を扱う胚培養士の技術講習会があった。夫婦7組に1組が不妊とされる中、中四国の不妊治療のレベルアップを狙う



岡山大の学生や中四国の胚(はい)は、培養士が卵の凍結・融解方法を学ぶ。岡山市北区内の岡山大学で2012年1月29日、体外受精などの生殖補助医療(不妊治療)で卵や精子を扱う胚培養士の技術講習会があった。夫婦7組に1組が不妊とされる中、中四国の不妊治療のレベルアップを狙う。岡山大の学生や中四国の胚(はい)は、培養士が卵の凍結・融解方法を学ぶ。岡山市北区内の岡山大学で2012年1月29日、体外受精などの生殖補助医療(不妊治療)で卵や精子を扱う胚培養士の技術講習会があった。夫婦7組に1組が不妊とされる中、中四国の不妊治療のレベルアップを狙う。

第2岡山 13版 2012年(平成24年)3月17日

胚培養士を養成 不妊治療コース新設



岡山大学農学部は、体外受精や人工授精、卵子凍結保存などの生殖補助医療技術者を養成するために、特別コースを新設した。このコースでは、基礎的な生物学や解剖学のほか、体外受精の技術や卵子凍結保存の方法などを学ぶ。また、臨床実習も行う。このコースは、2013年度からスタートする。岡山大学農学部は、このコースを通じて、生殖補助医療技術者の育成に貢献するとしている。

平成24年度事業

実施内容

- ✓ 生殖補助技術キャリア養成特別コースを先行実施(後期～)

成果・効果等

- ✓ 履修者: 8名
- ✓ 医学部開講科目の受講
- ✓ インターンシップ実施
- ✓ 関係医療機関の協力・組織化成功

反響 … 受験者、関係コース志望者の増加

卵子や精子扱う心構えを

岡山大学農学部が全国に先駆けて設けた「生殖補助技術キャリア養成コース」の実習が始まり、医療現場に向いた学生が精子や卵子を扱う技術を胚培養士から学んでいる。実習先のクリニックは「人の卵や精子はとて大切なもの。扱う心構えをまず感じてほしい」という。



受精卵を育てる培養器などについて、胚培養士が岡山大学農学部の学生に説明した＝岡山市北区津高

「生殖補助技術コース」実習 岡大農学部

不妊クリニックなどで体外受精や受精卵の培養を担う「胚培養士」や「臨床エンブリオロジスト」は、医学部保健学科のほか、農学部の卒業生らが多い。こうした専門職養成のため、岡山大は今年度、農学部に生殖補助技術キャリア養成コースを設けた。全国でも珍しいという。

初実習には3、4年生の5人が参加。生殖医療を手がける岡山二人クリニック(林伸旨院長、岡山市北区津高)など三つの医療機関に分かれ、5日間通う。体外受精の工程を見学し、精子や卵子、受精卵を扱う技術を学ぶ。

農学部4年の長池末郷さん(22)と李揚さん(26)は岡山二人クリニックで胚培養士歴13年の平田麗さん(35)から指導を受ける。2人は実際に精液検査や精子の凍結保存などを体験。「人の生殖細胞だと思えば緊張する」「見ると簡単そうだが、やってみると難しい」と話した。

(長崎緑子)

「生殖補助技術キャリア養成特別コース」を新設



胚培養士を目指し

医療現場での即戦力育成へ

岡山大学農学部は今年、体外受精などの生殖補助医療分野に特化した「生殖補助技術キャリア養成特別コース」を新設した。農学部の卒業生らが多い。こうした専門職養成のため、岡山大は今年度、農学部に生殖補助技術キャリア養成コースを設けた。全国でも珍しいという。

岡山大農学部



岡山大農学部は今年、体外受精などの生殖補助医療分野に特化した「生殖補助技術キャリア養成特別コース」を新設した。農学部の卒業生らが多い。こうした専門職養成のため、岡山大は今年度、農学部に生殖補助技術キャリア養成コースを設けた。全国でも珍しいという。



岡山大農学部は今年、体外受精などの生殖補助医療分野に特化した「生殖補助技術キャリア養成特別コース」を新設した。農学部の卒業生らが多い。こうした専門職養成のため、岡山大は今年度、農学部に生殖補助技術キャリア養成コースを設けた。全国でも珍しいという。



胚培養士を目指し実習 岡山大学 医療機関 養成コース岡山大生



顕微鏡を操作する平田さん(右)を真剣な表情で見つめる学生

不妊治療での体外受精クリニックで行われる。2月1日までの育成に向け、岡山大5日間、不妊治療の最前線に初めて触れる。同コースは計8人が履修し、実習は必修科目。他の3人は2月4日から5日間、岡山、倉敷市内の医療機関で実習。2人は2月10日から11日、津高の岡山大二人クリニックで実習を行う。

が日常的に行う、顕微鏡を使い卵細胞に精子を直接入れる「顕微授精」といった業務を見学している。一方、医療現場では、関連学会認定の「胚培養士」は、動物と違い、絶対に失敗できない緊張感がある。今春から大阪の病院で働こうという経験生かしたい」と話した。(杉本明信)

医学部と連携

不妊治療を行うために、受精や着床などを専門的に行う技術が必要だが、日本生殖補助医療学会は日本産科エンブリオロジストを養成する資格を持っている。



平成25年1月31日
山陽新聞朝刊

平成24年度事業

実施内容

- ✓ 公開シンポジウムの開催
(平成25年1月12日)

臨床エンブリオロジスト学会に合わせて
浜松市にて開催

成果・効果等

- ✓ 本特別コースの宣伝
開催案内とともに特別コース紹介
- ✓ 胚培養士には歓迎
- ✓ 地方都市ニーズの高さ認識
- ✓ オンデマンド授業の要望
- ✓ 実施教育機関間連携の可能性

平成24年度 岡山大学 大学機能強化戦略経費（教育の推進・教育改革支援経費）事業
「生殖補助医療技術キャリア養成特別コースの構築」

公開シンポジウム

エンブリオロジスト養成への 教育機関の関わり

～現状と今後の展開～

日時 平成25年
1月12日 18:00～19:00

場所 アクトシティ浜松 研修交流センター5F 52研修交流室
浜松市中区板屋町111-1 電話053-451-1111

7組に1組の夫婦が不妊といわれる現実・・・
増え続ける生殖補助医療へのニーズを変えるエンブリオロジストは、
就職後にそれぞれの医療機関で技術やスキルを習得しているのが現状です。
そこで、エンブリオロジスト養成教育の課題と、その一編を大学など教育機関が
受け持つ可能性について考えます。

講師

猪鼻 達仁（山王病院リプロダクションセンター胚養室主任・国際医療福祉大学助教）
「教育機関におけるエンブリオロジスト養成の意義と現場のニーズ」

舟橋 弘晃（岡山大学大学院環境生命科学研究科教授）
「大学でのエンブリオロジスト養成教育の可能性」

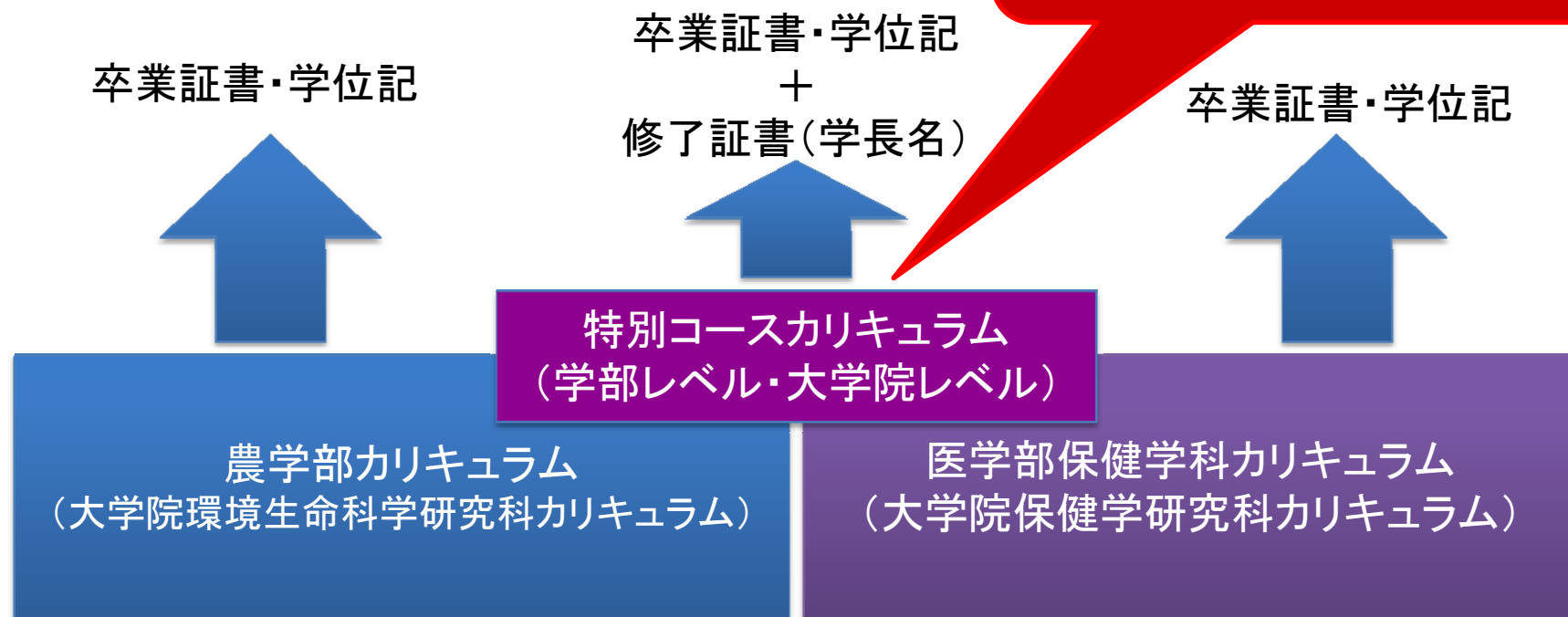
主催：岡山大学「生殖補助医療技術キャリア養成特別コース」準備委員会
お問合せ先：岡山大学環境生命科学研究科農生命科学専攻 舟橋弘晃
Tel/Fax: 086-251-8329, E-mail: hirofun@cc.okayama-u.ac.jp

本学で、生殖補助医療技術キャリア養成特別コースをまず学部・大学院レベルに全国の大学に先駆けて整備する。

生殖補助医療技術キャリア養成教育モデルを構築・普及させることは、生殖補助医療技術者の質を向上させ、我が国での同技術者資格の国家資格化や少子化対策にも資し、本学の存在と使命をさらに高める。

学部では即戦力の生殖補助医療技術者
大学院では国際的な生殖補助医療管理技術者の養成を目指す

両学部の既存科目と新規科目の組み合わせによって構成
…ともに全国初！



両学部学生は、両学部該当科目を履修した場合、当然、卒業要件単位として認めるとともに、特別コースの要件科目も修得したものとみなす。

岡山大学生殖補助医療技術キャリア養成特別コース設置要項（案）

平成24年 月 日
学 長 裁 定

（設置）

第1条 生殖補助医療技術に関する体系的なキャリア養成特別コースを整備することにより、同分野における人材を養成することを目的に、生殖補助医療技術に関する科目を体系的に学修できる教育課程として、医学部保健学科及び農学部、生殖補助医療技術キャリア養成特別コース（以下「特別コース」という。）を設置する。

（履修対象者）

第3条 医学部保健学科の特別コースの履修対象者は、次の各号のいずれかに該当する学生とする。

- 一 医学部保健学科の学生
- 二 大学院保健学研究科博士前期課程の学生

2 農学部の特別コースの履修対象者は、次の各号のいずれかに該当する学生とする。

- 一 農学部の学生
- 二 大学院環境生命科学研究科博士前期課程生命環境学専攻環境生態学講座の学生
- 三 大学院環境生命科学研究科博士前期課程生物資源科学専攻の学生
- 四 大学院環境生命科学研究科博士前期課程生物生産科学専攻の学生

（定員）

第4条 医学部保健学科及び農学部の特別コースの定員は、合せて原則10人とする。

生殖補助医療技術キャリア養成特別コースカリキュラム

科目区分	授業科目名	単位数	修了要件 単位数	備考
必修科目	保健科学入門	2	2	医学部開講科目
	医療経済学	2	2	医学部開講科目
	感染免疫学	2	2	医学部開講科目
	動物生殖生理学	2	2	農学部開講科目
	動物発生工学	2	2	農学部開講科目
	生殖補助医療学	2	2	農学部開講科目
	応用動物科学コース実験Ⅰ	2	2	農学部開講科目
	生殖補助医療技術実習	2	2	農学部開講科目
選択必修 科目	基礎遺伝子学	2	2	医学部開講科目
	基礎遺伝学	2		農学部開講科目
	基礎病態学	2	2	医学部開講科目
	動物内分泌学	2		農学部開講科目
	感染看護学	1	1	医学部開講科目
	感染予防学	1		医学部開講科目
合計単位数			21	

(学部学生用)

第 号

修 了 証 書

所属学部

本籍 (都道府県名)

氏 名

年 月 日生

本学の生殖補助医療技術キャリア養成特別コースを修了したことを証する

年 月 日

岡山大学長

印

生殖補助医療技術キャリア養成特別コースの開設事業 —生殖補助医療技術者の国家資格化とその国際的拠点形成—

岡山大学

背景: 我が国夫婦の
7組に1組が不妊!



不妊治療



妊娠

課題: 生殖補助医療技術者
養成のための教育体
系が未整備



医師の下で
活躍!!

生殖補助医療技術者

・リカレント教育のニーズ

医療機関自らが技術者を養成
小規模医療機関ほど人材育成に割く労力は大きな負担

・地域の小規模生殖補助医療機関ほど
治療後の妊娠成績が低い

晩婚化の進む現在、生殖適齢期限が迫る夫婦
にとっては深刻な問題

岡山大学

保健学研究科
医学部保健学科

医療の基礎知識はあるが
生殖補助医療技術が未習得

環境生命科学研究科

農学部

生殖補助医療技術を習得するが
医療現場で要求される基礎知識
が不足

岡山大の生殖補助技術者
輩出数は国立大学中第1位!

全国初!

農学部と医学部保健学科
関連大学院が連携

目的: 国家資格化に向けた教育体系の構築
教育システムの普及・国家資格化に向けた活動

学部レベル:

両学部の良いところ取り⇒生殖補助医療技術キャリア養成

大学院レベル:

生殖補助医療技術者のリカレント教育(人材発掘)

生殖補助医療管理技術者の養成

効果: 医師に意見が言えるレベルの高い
生殖補助医療技術者の輩出及び
国家資格化

医療機関が人材育成に割く
労力が軽減される

日本および世界の生殖補助医療レベルの
改善!

EMJDs-REPROBIOの実施など
国際的養成拠点化!

平成25年度事業予定

- 1) テニュアトラック教員、非常勤講師採用
- 2) 農学部・医学部(保健学科)両学部で特別コースカリキュラム完全実施
- 3) 学部実習関連設備の整備
- 4) 研修受け入れ機関を組織化し、インターンシップ研修を実施
- 5) 生殖補助医療技術者資格に関するヒアリングを実施
- 6) 国際教育研究拠点を研究